

## 「炭素ナノ構造を利用した科学」論文募集

「炭素」編集委員会  
主担当委員 大場友則  
担当委員 高井和之  
西原洋知  
松本里香

炭素材料は炭素繊維やメソフェーズ小球体などのミクロンオーダーの構造形成やカーボンナノチューブ、フラーレン、ナノグラフェンなどのナノオーダーの構造形成によって、多様な構造体を形成し特異な電気伝導性、熱伝導性、機械特性を示すことが知られています。炭素材料のもつユニークな物性は実用上たいへん有用であり、電極材や吸着材、複合材料のフィラーなどに利用されています。そのため、さまざまな分野で開発や研究がされています。炭素材料の構造制御はその機能を利用するうえで最も重要な要素となっており、255号において「炭素材料のモルフォロジー制御」の特集を行ったところでもあります。これら炭素材料の多様な構造形成のなかでも特に数nm以下のナノ領域での構造（ナノ構造）制御はナノ細孔体を中心とした広い意味でのナノ構造体を利用するうえで必要不可欠です。たとえば、ナノ構造の制御によって上記の物性が左右され、特異な物性が見られたり、ナノ構造と相互作用する分子に特殊な場が提供されることによる吸着性、化学反応性が見られたりします。炭素ナノ構造体のもつ特異な物性や分子反応場の提供、機能の発現によって、新たなナノテクノロジーの創出が可能となります。

これまで炭素材料のもつユニークな物性を利用することでさまざまな製品が生み出されてきましたが、継続的な炭素材料の発展のためにはナノ構造的炭素材料の制御や物性の理解が必要不可欠となってきております。そのため、今回の特集では炭素材料科学におけるナノ構造の制御や物性、またはナノ構造の機能を調べる研究など『炭素ナノ構造』に特化した研究を広く募集することにしました。本特集によって、炭素ナノ構造体を創製する際の指針となれば幸いです。ぜひ、本特集にさまざまな研究者からのご投稿をいただけますようお願い申し上げます。

**投稿方法：**「炭素」投稿規定に従い原稿を作成し、特集号への投稿であることを明記のうえ、下記の原稿締切日までに炭素材料学会編集事務局へご投稿ください。

**応募締切：**2013年5月10日(金)

投稿原稿の区分、タイトル、著者、連絡先を明記のうえ、E-mailにて炭素材料学会編集事務局(tanso-edit@bunken.co.jp)へ電子メールにてお申込みください。郵送にて下記の住所にお送りいただいても結構です。

**原稿締切：**2013年6月28日(金)

**原稿の区分：**論文(刷上り6頁以内)、総合論文(同10頁以内)、ノート(同3頁以内)、技術報告(同3頁以内)

**内 容：**上記分野におけるオリジナルな内容で、印刷物として未発表のもの。

**審 査：**応募原稿は、通常の炭素誌への投稿原稿と同様の審査を行う。

**掲 載：**炭素260号(2013年11月発刊予定)

**申込・問合せ先：**〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8

(株)国際文献社内 炭素材料学会編集事務局

TEL: 03-5389-6492 FAX: 03-3364-0041 E-mail: tanso-edit@bunken.co.jp